

志賀の里 志賀小学校だより



学校教育目標：かしこく なかよく たくましく
めざす学校像：志を高く 賀びにあふれ 未来へ翔ける学校
めざす児童像：「3つの心」がきらめく志賀翔っ子(志の心・賀の心・翔の心)



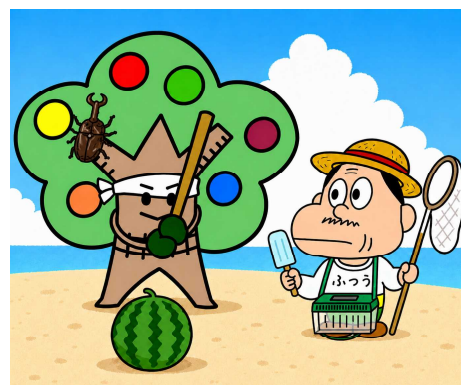
令和8年夏休み号

夏休みをむかえるにあたって

6、7月に入り、日本各地を相次いで襲った台風は、河川の氾濫や土砂崩れなどを引き起こし、甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様が一日も早く元の生活に戻れることを心からお祈りするとともに、我々一人一人が一つでも何かできることを考えていくことができればと思うところです。

さて、早いもので1学期も本日で終了となります。目指す学校像「**志**を高く、**賀**びにあふれ、未来へ**翔**ける学校」、目指す児童像「**3つの心**がきらめく志賀翔っ子(志の心・賀の心・翔の心)」の具現化を目指し、日々の教育活動に取り組んでまいりました。そして、この1学期を子供たちは行事や日々の活動に精一杯取り組むことができました。保護者、地域の皆様には日頃より多大なるご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みです。夏休み期間は、子供たちにとって、家庭や地域が学習・活動の場になります。学校ではできない様々な経験・体験を通して、更にたくましく成長してほしいと願っています。熱中症が心配な時期ではありますが、この夏休みが事故や怪我なく有意義に過ごせるよう、ご家庭はもちろん地域でもお声がけをよろしくお願いいたします。



七夕飾りに願いを込めて(けやき・6年)

けやき学級と6年生の児童が七夕飾りを作りました。ところで、七夕にはどうして願い事を短冊に書いて飾るのでしょうか？そこで調べてみました。そもそも、「針や糸を供えて手芸の上達を願う」という宮中行事が始まりで、これが後に和歌や書道、学問の上達も願うようになったことから、七夕の日には様々な願い事を短冊に書くようになったそうです。笹に飾るのは、まっすぐ伸びる笹や竹が「願いを天まで届けてくれる」という意味が込められているからです。(諸説あり)

短冊に書かれた願いは、どれも真剣で、書いた本人が今、心から願っていることの一つです。それらが叶えられるように子供たち一人一人を思い、一瞬一瞬を大切にしながら、精いっぱい応援していきたいです。

- ・料理ができるようになりますように。
- ・足が速くなりますように。
- ・ママとたくさん遊べますように。
- ・家族みんなが健康にぐらせますように。
- ・英検が合格できますように。
- ・友達の骨折が早く治りますように。



子供を成長させる通知表に

1学期の通知表が子供たちに手渡されました。通知表は、子供を励ますための学校からのメッセージです。学力で子供を序列化するためのものではなく、伸ばしたいところや補いたいところをお伝えし、ご家庭と協力して今後の指導に活かすためにあります。ですので、どんな些細なことでも構いませんので、通知表がきっかけとなって、今まで気付かなかった子供の良さをご家庭と学校が一緒になってたくさん引き出し、「自信」をもたせてあげられたらと思っています。自信をもたせてあげることは、子供の心を育て、力を伸ばすために大切なことです。子供の姿をよく見つめ、どんな小さな良さも、ほめて認めてやることで自信につながっていきます。自信は次へのやる気を引き出し、さらなる力の発揮にもつながります。どうぞよろしくお願いいたします。



安全見守り活動へのお礼

日頃より保護者や地域の皆様による安全見守り活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、大きな事故等もなく無事に1学期を終えることができました。登校時は、朝の通勤時間帯と重なるため、大変飛ばしている車も多く、そのような心配のある場所に地域の方々や、保護者・ご家族の方々が立って下さったり、登校班の児童と一緒に歩いて下さったりすることが、何よりの事故や犯罪の抑止力につながっているものと確信しております。今後につきましても、お忙しい中とは存じますが、地域や保護者の皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、見守り活動の際には、児童の安全だけでなく、ご自身も事故等に巻き込まれぬよう、自らの安全確保にも十分ご注意ください。



機材を導入して熱中症対策

梅雨明け間近、猛暑日、真夏日が続いています。学校では、体育や休み時間の前に熱中症計で「暑さ指数(WBGT)」を測っています。暑さ指数とは、「気温」「湿度」「輻射熱(太陽熱で熱くなった壁や地面などから放射される熱)」の3つを取り入れた温度の指標のことです。暑さ指数が基準値を超え「運動中止」レベルに達した時は音で知らせてくれます。その場合は、体育や運動遊びを中止にしています。

そのほかにもこれまで同様、水分補給や教室のエアコン活用、登下校時及び運動時のノーマスクなどを推奨しています。特にマスクについて、今はコロナやインフルエンザ以上に熱中症で命を落とす危険性が高まっています。ご家庭においても、「風邪予防よりも熱中症対策」にご協力をいただき、お子様へのノーマスクのご指導をお願いいたします。



水難事故に注意！(お願い)

これから暑い季節を迎え、プールや川遊び、海水浴に出かけるなど、水と接する機会もあろうかと思えます。その際は万全を期してお出かけください。つきましては、水泳や水遊びに出かける際には、必ず保護者や責任が持てる大人が同行すること、決して子供だけでは行かないことなどをご家庭でもご指導ください。そして、行き先や帰宅予定時刻、同行者を明らかにする習慣付けを日頃より行ってください。必要に応じて、浮き輪やライフジャケットなどの使用も命を守る上で効果的です。

また、局地的な大雨(ゲリラ豪雨)や台風等の自然災害による川の増水も非常に危険です。そのような時には、絶対に川に近づかぬようご指導をお願いいたします。

